



馬の学校

馬の学校通信

2007. 2 vol.25

発行 馬の学校

事務局 〒560-0084 大阪府豊中市新千里南町 3-27-26 TEL/FAX : 06-6832-8455

E-mail : mine@dp.u-netsurf.ne.jp ホームページ : http://www.horseschool.org



春のプログラム 参加者募集！！

ウマキャンプ (3泊4日)

日程 : 3月27日(火)~30日(金) 山梨・小須田牧場

対象 : 小学4年生~高校3年生 (定員 6名)

参加費 : ¥41,000 (現地集合・解散)

*大阪集合解散の場合、小学生 ¥50,000 中学生以上 ¥55,000

馬とのふれあいプログラム (約2時間)

日程 : 4月21日(土)午前10~12時 服部緑地乗馬センター

5月20日(日)午後1時半~3時半 わらし乗馬センター

6月24日(日)午前10~12時 服部緑地乗馬センター

(それぞれ定員 4名) *原則として保護者同伴

対象 : 小学1年生~高校3年生

参加費 : 1人 ¥8,000 (現地集合・解散) / 1回

ファミリープログラム (日帰り)

日程 : 4月28日(土) / 5月13日(日)

ホーストレッキングわち

対象 : 幼・小・中・高校生のお子さんとそのご家族 (定員3家族)

参加費 : 1家族 ¥15,000 (現地集合・解散) / 1回

別途 食費 1人 ¥500

★お申し込みは、会員の方は2月17日から、一般の方は19日から、電話・FAX・E-mailで事務局まで！

GWの特別企画！ 馬と友達になろう in 室戸

日程 : 5月3日(木)、4日(金)、5日(土)

国立室戸青少年自然の家

対象 : 幼児~大人 (体重70kg以下)

参加費 : 1人 ¥1,000 / 1回 (現地集合解散・1時間)

共催 : 国立室戸青少年自然の家 (高知県室戸市元)

*馬の学校の会員以外でもご参加いただけます

*詳しくは事務局までお問い合わせ下さい。



施設紹介



馬の学校のプログラムを行わせていただいている施設を紹介します。

★わらし乗馬センター (枚方市王仁公園内)

乗馬療育を行っている施設です。会員になると乗馬療育が受けられます。ふれあいプログラムの時は貸し切り状態になり、のんびりゆっくり馬とふれ合うことができます。



★国立室戸青少年自然の家 (高知県室戸市元)

青少年の団体だけでなく、家族でも利用できる自然の家です。海のプログラムが充実しており、ホエールウォッチングもできます。馬の学校ではGWに特別プログラムを行わせていただいています。



会員継続手続きのお願い

会員証の有効期限が3月末になっておられる方は、3月末までに継続の手続きをお願いします。同封の振替用紙にて年会費 1000 円あるいは賛助会費をお支払い下さい。新規の申し込みも受付中です。(特製キーホルダーと年末にはカレンダーをプレゼント！)

*住所変更をされた方は、事務局までお知らせください。メール便の場合は転送されずに戻ってきてしまいます。



🐾2007年活動予定（7月以降）

- 7月 ファミリープログラム 京都・和知
- 8月 ウマキャンプ 清里
- 10月 ファミリープログラム 京都・和知
ふれあいプログラム 服部緑地
ふれあいプログラム セルプわらしべ
- 11月 ファミリープログラム 京都・和知
ふれあいプログラム 服部緑地




🐾おすすめのHP



『うまのいるふうけい』

北海道の牧場で撮られた馬の写真がたくさんあります。HPの題名にもあるように、馬そのものではなく「馬のいる風景」がメインです。季節ごとに分類された壁紙のコーナーもあり、私も愛用中です。管理人さんが「少しでも多くの方が暖かい気持ちになれる場になれば」と書いておられるように、壁紙を見ては癒されています。北海道の風景写真もあり、とてもきれいです。

馬のトリビア

1. 馬の眼は、ゾウやクジラよりも大きい。
しかも暗いところでも、ものを見ることができる。

2. 馬は苦味に対する耐性が強い
馬の味覚は、人間と同じく苦味・甘味・塩味・酸味がそろっており、苦味以外は人間とよく似ている。

3. 野生の馬は、24時間のうち、16時間を食事に費やしている。
馬の胃は、牛より小さく、反すうができないので、常に食べ続ける必要がある。

4. フンコロガシの一番好きなフンは「馬糞」である。
フンコロガシは肉食動物よりも草食動物のフンを好み、2番目は羊、3番目はラクダである。
(1~3 『競馬の動物学』 デズモンド・モリス著 平凡社)
(2006年イグ・ノーベル賞の受賞研究「フンコロガシの食嗜好(しこう)についての研究」より)

🐾編集後記

馬の学校も今年で8年目を迎えます。小学生の時にプログラムに参加してくれた子どもたちから年賀状が届き、「成人式を迎えました」「大学に入学しました」と書かれているのを見て、その年月の長さを実感しました。

私事ですが、3月にイギリスで乗馬療法の勉強することになりました。10年前に訪れた「フォーチュン・センター」（16歳以上の青年を対象に、馬事を通じた教育を行っている施設）に滞在させていただき、当時見逃していたことをしっかりと見たり、新たな視点でいろいろなことを吸収してきたいと思っています。またロンドン近郊の、シティファームと呼ばれる馬などの動物がいる遊び場（ドイツの子ども農場と同様の施設）の見学も計画しています。次の通信でいろいろと報告したいと思っていますので楽しみに！

(峯崎 友香理)